旭川医大 井上先生による問題解決ワークショップが開催されました！

12月18日、本校で旭川医大教育センター講師・小児科医師の井上裕靖先生による「問題解決ワークショップ」が開催されました。

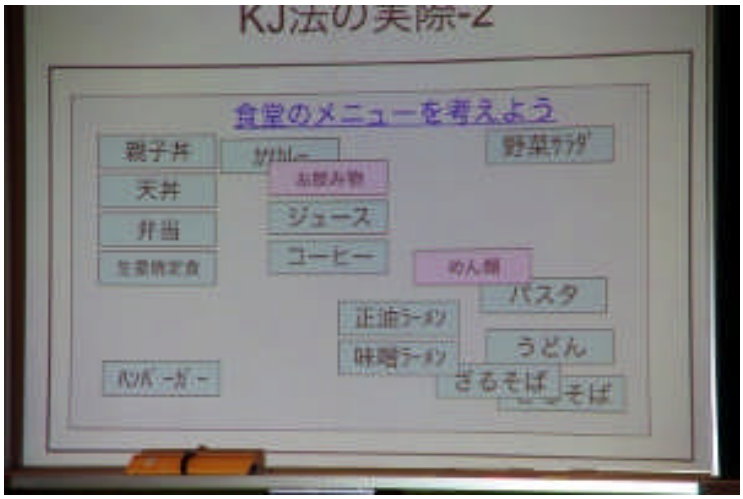
これは、本校が「医進類型指定校」に指定されている関係で、旭川医大との高大連携事業の一環として行われたものです。当日は、グループワークで問題を解決する手法を身につけることをねらいとして、①「文殊法」によるブレインストーミング、②KJ法による問題解決ワークショップ、③グループワーク成果のプレゼンテーションを実際に行いました。33名の生徒が6つのグループに分かれて議論し、「食堂のメニュー」を出し合ってKJ法で整理したり、「小樽に必要な医療を考える」をテーマに作業1「小樽の良いとこと、改善したいところ」、作業2「小樽に必要な医療、病院」の2つの作業をKJ法で行って、各グループ毎の考えを形にまとめる実習を行いました。

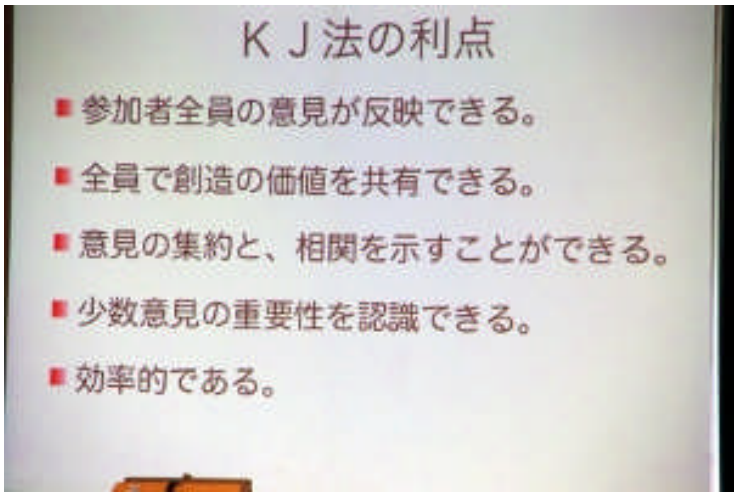
〈当日参加した生徒の感想〉

・本当に充実した時間を過ごせたと感じた。1つのテーマについて、ここまで話を詰めて、様々な案を考えていくことがこれから将来やることにつながっていくと思うと、いい経験をしたなというふうに思った。地域医療について、知っている知識もあれば、新しい発想をしたものまでみんなの発表の中にあり、授業で学べないことをここで学べた気がした。(2年男子)

・普段関わることの少ない人たちとグループを作り、同じ議題を考え、話しあうことで、新しい視点で物事を見ることができました。学校生活でこのような話し合いは少ないので、良い経験が出来たと思います。(2年女子)

・小樽の良いところ、改善したいところは書けても、それをなかなか医療につなげることが出来ず、悩みました。けれど、グループで話し合うと、ちゃんと一人一人意見が出て自然にまとまり、良い経験ができました。(1年女子)




ＫＪ法の利点
参加者全員の意見が反映できる。
全員で創造の価値を共有できる。
意見の集約と、相関を示すことができる。
少数意見の重要性を認識できる。
効率的である。